

# わたしの 孫が 来た!!

顔の見える  
ブルガリア語方言研究

菅井 健太 さん

北海道大学 大学院文学研究院

言語科学研究室 准教授

《ロシア語学、スラブ語学》

話し手

2020年 11月 14日（土） 15:00～16:30

オンライン開催（Zoom）・参加申し込みが必要です

申し込み  
方法

下記 URL もしくは QR コードから申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/vguwhvE1xTuAT2tHA>

※お申し込みいただいた方に、視聴 URL をお知らせします。

主催

北海道大学 大学院文学研究院・人文学カフェ企画ワーキンググループ

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室

連絡先

TEL: 011-706-4083 Email: [kenkyu@let.hokudai.ac.jp](mailto:kenkyu@let.hokudai.ac.jp)

北大人文学カフェウェブサイト: <https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>



自分の母語が消えてしまうことを考えたことはありますか？南東ヨーロッパの国、ルーマニアには隣国ブルガリアからおおよそ200年前に移住したブルガリア系マイノリティの人々が暮らしており、多かれ少なかれ今日まで自分たちの母語であるブルガリア語方言を保持しています。しかし、首都ブカレストの郊外に位置するある集落では、自由自在にブルガリア語方言を話すことができるのは80歳を超える高齢者に限られ、彼らの子供や孫たちの世代ではマジョリティであるルーマニアの言語文化との同化が進み、彼らにとっての母語であるブルガリア語方言は今まさに失われようとしているのです。

今回の人文学カフェでは、ブルガリア本国以外に居住するブルガリア系マイノリティの住民の言語調査から見えてくることや、そこで暮らす彼らの“顔”に迫っていきたいと思います。

#### ● 話し手のプロフィール

菅井 健太 さん

北海道大学 大学院文学研究院

言語科学研究室 准教授

《ロシア語学、スラブ語学》



1986年東京都生まれ。東京外国語大学ロシア語専攻卒業。東京外国語大学大学院博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。在学中にブルガリア共和国・ソフィア大学スラブ文献学部に留学。2018年に博士（学術）を取得。筑波大学人文社会系助教を経て、2019年から北海道大学大学院文学研究院准教授。専門はスラブ語学、言語学。著書に、『ゼロから話せるブルガリア語』（単著、三修社）、『日本人が知りたいロシア人の当たり前—ロシア語リーディング』（共著、三修社）、『新ロシア語読本—古典文学からレシピまで』（共著、東洋書店）などがある。

#### ● 北大文学カフェとは

北大文学カフェは、北海道大学大学院文学研究院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究院との交流を深めていくことを目指しています。



人文学Café

第26回 北大文学カフェ

## わたしの 孫が 来た!!

顔の見える  
ブルガリア語方言研究

#### ● お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究院 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL: 011-706-4083

Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>